

No. 402
2005年
1月

OR学会だより

社団法人 日本オペレーションズ・リサーチ学会
〒113-0032 東京都文京区弥生 2-4-16 学会センタービル 3階
電話(03)3815-3351 代 Fax(03)3815-3352
http://www.orsj.or.jp/

●平成 17～18 年度役員候補者推薦のお願い

定款に従って平成 17, 18 両年度の役員を選出を行います。スケジュールは次の通りです。

- 平成 17 年 1 月 31 日(必着) 候補者推薦締切。
- 2 月 20 日～3 月 20 日 会員の書面による投票。
- 3 月末日 開票(予定)。
- 来年度総会において承認の予定。

つきましては、以下により候補者の推薦をお願いいたします。

(社)日本オペレーションズ・リサーチ学会 監事 古林 隆, 高井英造

役員候補者

- 1 役員(理事・監事)候補者については本人の同意を得たうえで、正会員または名誉会員 5 名以上が候補者の略歴をつけて、推薦する(下記の書式に従ってください)。
- 2 役員候補者は名誉会員または個人正会員でなければならない。
- 3 理事は会務の分担ごとに選挙するので、分担を明示すること。今回選出する理事の会務分担および定数は次の通りとする。
副会長 2 名 庶務 1 名 研究普及 1 名 編集 1 名 国際 1 名 無任所 1 名 (支部所属者 1 名)
- 4 監事の改選数は 1 名。

..... 切 り 取 り 線

平成 年 月 日

役員候補者推薦届

(社)日本オペレーションズ・リサーチ学会選挙管理委員会殿

平成 17～18 年度日本オペレーションズ・リサーチ学会の役員

副会長 庶務理事 研究普及理事 編集理事 国際理事 無任所理事 監事として

氏を推薦いたします。

推薦者(正会員または名誉会員 5 名以上)

(代表者) 氏名 _____ ㊟(所属: _____)

_____ ㊟ _____ ㊟ _____ ㊟

_____ ㊟ _____ ㊟ _____ ㊟

候補者略歴 (18 字×6 行以内)

上記の推薦に同意します。氏名 _____ ㊟(所属: _____)



● 日本 OR 学会各賞候補ご推薦のお願い

本学会では、毎年 OR 学会文献賞、実施賞、普及賞、事例研究賞、学生論文賞を贈り、それぞれの分野で顕著な仕事をされた個人や企業を表彰しております。今年度の受賞候補者のご推薦を募ります。締切は学生論文賞を除き、平成 17 年 1 月 7 日といたしますので、それに間に合うよう、学会所定の用紙をお早めに事務局宛にご請求ください。なお、5 賞の概要は次のとおりです。

〔文献賞〕 大西記念文献賞に引き続いて設けられた本会で最も歴史のある賞です。次の条件を満たす論文の著者をご推薦ください。

- 1 論文は独創性と将来性に富み、OR の発展に寄与するものであること。
- 2 論文は OR 学会発行の論文誌またはこれに相当する権威ある雑誌、論文集にその年（原則として、16 年の 1 月 1 日より 12 月末日までに発行されたものをいう）に発表された論文であること。
3. 被推薦者は OR 学会員で、年齢は原則として 40 歳以下であること。

なお、論文の著者が複数以上あるときには、主としてその論文の作成にあたった者をもって代表とし、被推薦者とします。

〔実施賞〕 OR の実施を強く推進してきた個人、グループまたは企業等に贈られます。最近の 5 年間では、(株)数理システム、日本ガイシ(株)開発センター、三菱重工(株)高砂研究所、日本 IBM (株)東京基礎研究所、(株)NTT データが受賞しています。

〔普及賞〕 OR の普及に大きな貢献をした個人、グループまたは企業等に贈られます。最近の 5 年間では、海辺不二雄、小笠原 暁、青沼龍雄、松井知己、伊倉義郎、平尾信正、久保幹雄、高井英造、大野勝久、高森 寛の各氏が受賞しています。

〔事例研究賞〕 学会員の行ったすぐれた事例研究に対して贈られます。学会員個人に限らず、学会員を含むグループも対象になります。事例研究は、原則として学会誌、学会の大会等、本学会において発表されたものといたします。

また、事例研究の対象としては、OR の教育・実務において広く学会員に役立つソフトウェアの開発も含まれます。但し、学会誌、学会の大会等、本学会において発表またはデモンストレーションされたものに限り

ます。なお、ソフトウェアの開発の場合は、そのソフトウェアの本体あるいはサブセット版（機能限定等）が無償で学会員に提供されることが前提になりますが、本体が市販される目的で開発されたかどうかは問いません。

〔学生論文賞〕 学生による優れた OR に関するすぐれた研究に対して贈られるものです。対象は、来春提出される学部の卒業論文、または大学院の修士論文とします。

応募締切は平成 17 年 3 月 31 日といたしますが、詳しい募集要領は、OR 誌 2 月号に掲載します。

(表彰委員会)

● 第 53 回シンポジウム

日 程：平成 17 年 3 月 15 日(火)

場 所：東京農工大学（小金井キャンパス）

テーマ：「都市の OR」

実行委員長：田口 東（中央大学）

● 平成 17 年春季研究発表会

日 程：平成 17 年 3 月 16 日(水)、17 日(木)

場 所：東京農工大学（小金井キャンパス）

（東京都小金井市中町 2-24-16）

特別テーマ：「共生社会と OR」

実行委員長：川島幸之助（東京農工大学）

アブストラクト締切：平成 17 年 1 月 14 日(金)必着

送付先：E-mail：or2005s@al.cs.tuat.ac.jp

日本 OR 学会 2005 年春季研究発表会実行委員

※発表のお申込に際しては大会 URL のページをご一読ください。（原稿を郵送したい方は、前もって実行委員まで電子メールでお知らせください。）

* 詳しくは、大会 URL：<http://al.cs.tuat.ac.jp/~or2005s/>をご覧ください。

● 第 15 回企業事例交流会

趣 旨：企業事例交流会とは企業の OR 実務担当者、OR 実施例（問題の発生からさまざまな苦労を経て解決に至る苦労話など）を新規研究の発表という形式ではなく、OR の適用事例という位置付けで発表していただき、学識者の方、他企業の方と意見交換をして頂く場です。

日 程：3 月 16 日(水)

場 所：東京農工大学（小金井キャンパス）

参加方法：研究発表会のセッションの一部として行い

ますので、研究発表会参加の手続きをして下さい。
 問合せ先：(株)日本オペレーションズ・リサーチ学会事務局
 Tel. 03(3815)3351 E-mail: kenkyu@orsj.or.jp

● 第54回シンポジウム

日 程：平成17年9月13日(火)
 場 所：神戸学院大学
 テーマ：マネジメント再考とOR
 (研究開発, 生産, マーケティング, 金融)
 実行委員長：三道弘明 (神戸学院大学)

● 平成17年秋季研究発表会

日 程：平成17年9月14日(水), 15日(木)
 見学会16日(金)
 場 所：神戸学院大学
 特別テーマ：ユビキタス社会とOR
 実行委員長：塩出省吾 (神戸学院大学)

● 第16回企業事例交流会

日 程：平成17年9月14日(水)
 場 所：神戸学院大学

● 平成16年度関西地区OR企業フォーラムのご案内

日 時：平成17年1月21日(金)
 午後3:30~7:00
 (懇親会を5:30から行います)
 場 所：(財)日本規格協会 関西支部
 〒541-0053 大阪市中央区本町3丁目4-10
 本町野村ビル内
<http://www.jsa.or.jp/default.asp>
 テーマ：「標準化の国際的動向と新しい分野でのマネジメントシステム」
 講 師：(財)日本規格協会 関西支部
 事務局長 中泉 純氏
 参加費：無料
 参加資格者：OR学会会員
 (個人会員, 学生会員, 賛助会員)
 会員以外でも当学会にご関心をお持ちの方であれば参加は可能です。
 申込み先：
 (株)日本オペレーションズ・リサーチ学会事務局
 E-mail: forum@orsj.or.jp

Tel 03(3815)3351 Fax. 03(3815)3352
 *1月14日(金)までにお申込下さい (12月号に申込書の綴込みがあります)。
 必要事項：①フォーラムの開催日, ②お名前, ③所属組織・部署名, ④会員種別 (個人正会員, 学生会員, 賛助会員), ⑤連絡先住所, ⑥TELまたはFAX番号

● 研究部会・グループ開催案内

[不確実性下のモデル分析とその応用]
 ・第17回
 日 時：1月22日(土) 14:00~17:00
 場 所：九州大学経済学部5階510A演習室
 テーマと講師：
 (1)「遺伝的プログラミングによる非線形時系列モデリングと株価認識への応用」
 呂 建軍・時永祥三
 (九州大学大学院・経済学研究院)
 (2)「非決定性システム下での動的計画法」
 藤田敏治 (九州工業大学・工学部)
 連絡先：九州大学大学院経済学研究院 時永祥三
 福岡市東区箱崎6-19-1
 Tel/Fax 092(642)2466
 E-mail: tokenaga@en.kyushu-u.ac.jp
 [AHPの世界]
 ・第5回
 日 時：1月25日(火) 14:00~17:00
 場 所：(財)電力中央研究所 大手町第1会議室
 千代田区大手町1-6-1 大手町ビル7階733室
 テーマと講師：
 (1)「双対尺度法はAHPに使えないか?」
 上田 徹 (成蹊大学)
 (2)「AHPの感性工学への適用」
 神田太樹 (西武文理大学)
 (3)「AHP及び効用理論を適用した高速炉を含む各種電源の特性評価」
 塩谷洋樹 (核燃料サイクル開発機構)
 * 新年会：研究部会終了後 (18時より) GINZA LION 大手町ビル店 (大手町ビル地下2階) で、新年会 (会費2,000円) を開きます。参加ご希望の方は、大屋まで (E-mail, 電話等で) 1月21日までに連絡して下さい。
 問合せ先：大屋隆生 (財)電力中央研究所
 Tel 03(3480)2111 Fax. 03(5497)0318

学会だより

E-mail . ohya@criepi.denken or.jp

● 会合案内

〔第 244 回新宿 OR 研究会〕

日 時：1 月 18 日(火) 12:00~13:30

場 所：東天紅会議室(新宿センタービル 53 F)

テーマ：「美術品の害虫駆除」

講 師：杉山真紀子氏(東北芸術大学 非常勤講師)

参加費：3,000 円

問合せ先：日本 OR 学会事務局

〔第 245 回新宿 OR 研究会〕

日 時：2 月 15 日(火) 12:00~13:30

場 所：東天紅会議室(新宿センタービル 53 F)

テーマ：「都市の立地と発展：米国に見る地方の活性化」

講 師：谷口和正氏(元 川崎製鉄(株)千葉製鉄所企画部能率室)

参加費：3,000 円

問合せ先：日本 OR 学会事務局

● 他学協会案内

他学会等が主催する大会やシンポジウムで当学会が協賛しているものについては、原則として主催学会の会員と同じ費用で参加できますので、皆様奮ってご参加下さい。

・第 35 回信頼性・保全性シンポジウム(協賛)

主 催：(財)日本科学技術連盟

日 程：2005 年 6 月 8 日(水)、9 日(木)

場 所：日本科学未来館(江東区青海)

問合せ先：(財)日本科学技術連盟 応用システム課
R & MS 担当

Tel 03(5378)9850 E-mail: re-group@juse.or.jp

● 平成 17 年度会費納入のお願い(事務局)

平成 17 年度の会費請求書をお送りいたしましたので、お早めにご送金くださるようお願いいたします。なお、16 年度以前の会費を未納の方は合わせてお支払いくださるよう重ねてお願いいたします。

〔預金口座振替ご利用の方へ〕

平成 17 年度会費振替は平成 17 年 1 月 20 日(木)になります。振替金額の不足のないよう、預金残高をご確認いただければ幸いです。

〔預金口座振替ご希望の方へ〕

預金口座振替をご希望の正会員の方は、学会事務局まで TEL, FAX, 郵便にてご連絡ください。折り返し預金口座振替依頼書をお送りいたします。

●新入会員

—正会員—

- *小林 成 01110990 (株)エスユウエイ
- *笹川 雅幸 01208130 (株)野村総合研究所 サービス事業コンサルティング一部
- *中村 咲子 01405843 三洋電機(株) 技術開発本部
- *藤田 美昭 01507763 (株)大地の声
- *前田 功 01606802 東芝セラミックス(株) 石英ルツホ部
- *松井 謙一郎 01606780 (財)国際通貨研究所 経済調査部
- *毛利 峻治 01606791 北海道大学 大学院経済学研究科

—学生会員—

- *小田原 英輝 02005940 慶應義塾大学 大学院理工学研究科開放環境科学専攻
- *呂 建軍 02992096 九州大学 大学院経済学研究院

—賛助会員—

- * (株)ニッセイ基礎研究所 03401030 代表者 代表取締役 正田文男
連絡者 金融研究部門取締役研究理事 萩尾博信
- * 三菱 証券(株) 03600360 代表者・連絡者 ニュープロダクツ部部长 青沼君明